

○標津川水系では流域全体を俯瞰的にとらえ、地域の産業と住民の安心・安全を確保するため、国・道・町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】下流域の人口・資産が集中する標津町市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削及び堤防整備等を実施する。
 【中期】中流域の人口・資産が集中する中標津町市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削及び堤防整備等を実施する。
 【中長期】標津川水系の流域全体における河道状況を把握して、河道掘削・樹木管理を実施するなど適切な維持管理に努める。
 ○あわせて、砂防・治山施設の整備、海岸保全施設の整備を行うと共に水害対応タイムラインの作成、関係機関と連携した避難訓練等を実施し、防災体制の強化を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	堤防整備、河道掘削、河道内樹木伐採	中標津町、標津町 釧路建設管理部	標津川下流域	標津川中流域	河道内樹木伐採
	土砂災害対策（砂防関係施設の整備等）	釧路建設管理部			砂防施設の整備
	下水道の雨水管等の整備	中標津町、標津町	下水道雨水管等の整備		
	内水被害軽減対策	中標津町、標津町	内水被害軽減対策		
	治山施設等の整備	根釧東部森林管理署 根室振興局、中標津町、標津町	治山施設等の整備		
	植栽、間伐などの森林整備	根釧東部森林管理署 森林整備センター 根室振興局、中標津町、標津町	植栽・間伐などの森林整備		
	海岸保全施設の整備	釧路建設管理部	海岸の侵食を防止する海岸保全施設の整備、海浜への養浜		
被害対象を減少させる ための対策	まちづくりでの活用を視野にした多段的な 浸水リスク情報の検討	中標津町、標津町	まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討		
	標津川流域に建築する人への災害リスク情 報の提供	中標津町、標津町	標津川流域に建築する人への災害リスク情報の提供		
被害の軽減、早期 復旧・復興のための 対策	水害対応タイムラインの作成	中標津町、標津町、釧路地方気象台 根室振興局、釧路建設管理部	標津川水害タイムラインの作成・運用		
	重要水防箇所共同点検	中標津町、標津町 根室振興局、釧路建設管理部	重要水防箇所を合同巡視する		
	要配慮者利用施設における避難確保計画作 成促進	中標津町、標津町 根室振興局、釧路建設管理部	要配慮者施設における避難確保計画の作成促進		
	関係機関と連携した避難訓練等の実施	中標津町、標津町、釧路地方気象台 根室振興局、釧路建設管理部	関係機関と連携した避難訓練等の実施		
	幼少期からの防災教育の実施	中標津町、標津町、釧路地方気象台 根室振興局、釧路建設管理部	学校等が実施する防災教育・訓練等への支援・参加		
	ハザードマップ作成、充実と周知	中標津町、標津町	ハザードマップ作成、充実と周知		
	水防資機材の充実と情報共有	中標津町、標津町 根室振興局、釧路建設管理部	各機関で所有する水防資機材について充実を図り、情報共有する		
	水害リスク空白域の解消に向けた取組	中標津町、標津町 釧路建設管理部	標津川の支川について氾濫危険区域を設定する		
	高潮浸水シミュレーション（想定最大規 模）の実施・公表	釧路建設管理部	高潮浸水シミュレーション（想定最大規模）の実施・公表		

【事業費】
(R3年度以降の残事業費)
 ■河川対策（釧路建設管理部）
 ・事業費 約27億円
 ・対策内容
 堤防整備、河道掘削 等
 ※事業費は今後、変更になる
 可能性がある。

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の
事業進捗によって変更
となる場合がある。